

☆市民活動をFMラジオで発信☆

『つなげよう！市民のチカラ！』

○第94回：2023年4月23日（日）

○ゲスト：弘前大学放送サークル Lacus（ラクス）

田村 真子（タムラ マコ）さん

弘前大学人文社会科学部

須藤 光（スウ ヒカル）さん

弘前大学人文社会科学部

荻荘 和史（オグサワ ヒロシ）さん



田村さん（左）須藤さん（中）荻荘さん（右）

○ 放送内容

今回の放送では、弘前大学放送サークル Lacus の田村真子さん、弘前大学人文社会科学部の須藤光さん、同じく弘前大学人文社会科学部の荻荘和史さんをゲストにお招きしました。みなさんは市民協働課で昨年度実施した学生によるまちづくり活動紹介コンテストである「協働によるまちづくり学生ジャーナリスト No.1 決定戦 2022」入賞した上位3位のグループの代表者の方々に、田村さんが1位の協働大賞、須藤さんが2位の協働優秀賞、荻荘さんが3位の協働準優秀賞を受賞されました。みなさんには、本コンテストに参加したきっかけや感想等をお話いただきました！

◆ コンテストに参加したきっかけ

田村さんは、所属する放送サークルで取材を行ったりアナウンス原稿を書いたことはあっても記事を書く経験がなかったので、新しいことをやってみたいと思って参加されたそうです。須藤さんは、本コンテストを大学のゼミの先生から紹介してもらい、同じゼミのメンバーと一緒に活動してみたいということで参加されたそうです。荻荘さんは、須藤さんと同じゼミに所属されており、先生からの紹介を受けて実際に自分たちが住んでいる弘前のことをあまり知らないのので、これをきっかけに知ることができたらということで参加を決めたそうです。

◆ 取材してみて

田村さんは、弘前大学の課外活動団体である「弘大囃子組」というねぶたや津軽の祭りにお囃子として参加する団体を取材されました。実際に取材をしてみて、運営側は悩んでいることがたくさんあるということが当事者の方に聞いてわかったので、楽しいというだけでは続けられないということを感じて、応援する側も考えていきたいという気持ちになったそうです。須藤さんは弘前公園で緑化活動を行う「みどりフレンズ」というボランティアを行う団体を取材されました。実際に取材をしてみて、この活動はそもそも観光客や市民の方が楽しく公園を散策できるようにするものであるため、力を使う作業もあって大変でしたが、作る側の視点に立つことができてすごくおもしろかったそうです。荻荘さんは、社会福祉法人千年会が行っている共食の場を提供する事業である、「おいでえーる」を取材されました。実際に取材をしてみて、コロナ禍により失われかけていた一緒に誰かと食べる楽しさを再認識することができたそうです。

◆ コンテストに参加してよかったこと

田村さんは、サークルのメンバーと一緒に作品を作ったことで、協力して頑張ることの大切さを感じたそうです。文章を書いたり構成する力が作品を完成させることによってパワーアップしたと思いますとおっしゃっていました。須藤さんは、身近な弘前公園でも今まで知らないことを知ることができて今までより弘前公園が立体的に見えるようになったと感じたので、やってよかったと思いますとおっしゃっていました。荻荘さんは、自分たちが住んでいる土地のことをくわしく知るという意味では非常に貴重な経験となったと感じているとおっしゃっていました。

本コンテストは今年度も開催予定です。市内の学生のみなさんはぜひ参加してみてくださいはいかがでしょうか🌸